



## 2020年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月13日

上場会社名 株式会社フルスピード 上場取引所 東  
 コード番号 2159 URL http://www.fullspeed.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友松 功一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長 (氏名) 栗田 洋 TEL 03-5728-4460  
 四半期報告書提出予定日 2019年12月16日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有

百万円未満切捨て

### 1. 2020年4月期第2四半期の連結業績（2019年5月1日～2019年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第2四半期	10,821	4.3	491	△24.0	488	△22.5	291	△27.3
2019年4月期第2四半期	10,375	5.7	646	△13.9	629	△16.8	400	15.8

(注) 包括利益 2020年4月期第2四半期 293百万円 (△27.5%) 2019年4月期第2四半期 405百万円 (18.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第2四半期	18.69	—
2019年4月期第2四半期	25.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期第2四半期	7,063	3,894	55.0	249.37
2019年4月期	6,857	3,641	53.0	233.31

(参考) 自己資本 2020年4月期第2四半期 3,882百万円 2019年4月期 3,632百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年4月期	—	0.00	—	—	—
2020年4月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無  
 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2020年4月期の連結業績予想（2019年5月1日～2020年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,400	4.1	1,350	8.2	1,340	12.6	760	33.7	48.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年4月期2 Q	15,571,000株	2019年4月期	15,571,000株
2020年4月期2 Q	46株	2019年4月期	46株
2020年4月期2 Q	15,570,954株	2019年4月期2 Q	15,570,969株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料）

速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済・金融政策などを背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善により個人消費が持ち直し、総じて緩やかな回復基調が続いている一方で、先行きについては、米中の貿易摩擦や欧州経済の不安感など、世界経済の不透明な状況が続いています。

当社グループの主たる事業領域である国内インターネット広告市場におきましては、2018年には前年比16.5%増の約1兆7千589億円（出所：株式会社電通「2018年 日本の広告費」）となり高い成長を示しました。

また、動画メディアの台頭に伴う動画広告市場の伸長や、デバイスの多様化に加え、ソーシャル・メディアの普及、大容量データを処理する広告関連技術（アド・テクノロジー）を活用したプラットフォームの開発・高度化が加速する等、インターネット広告市場においては、広告主のターゲットとするユーザーに対し、適正にアプローチできる広告サービスが期待されております。

このような事業環境の下、当社グループは、テクノロジー & マーケティングカンパニー をスローガンに掲げ、インターネットマーケティング事業や、「ADMATRIX DSP」、「afb」を中心とするアドテクノロジー事業の展開を強化しております。一方で、当社グループのコアアセットである、日本国内で蓄積されたマーケティングやテクノロジー基盤開発を活用した、戦略ドメインである”ヘルスケア”、”BtoB”、”クロスボーダー”領域における経営資源の積極活用を実施してまいりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,821,756千円（前年同期比4.3%増）、営業利益491,632千円（前年同期比24.0%減）、経常利益488,013千円（前年同期比22.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は291,086千円（前年同期比27.3%減）となりました。

セグメント別の営業概況は次のとおりです。

#### <インターネットマーケティング事業>

「コンサルティング力×伴走力×信頼性×独自商材」を軸に中堅企業No.1のマーケティングパートナーを目指し、サービス拡販に取り組んでまいりました。また、ソーシャルメディアマーケティング\*1、リスティング広告\*2、コンテンツマーケティング\*3、アフィリエイト広告\*4などの各種サービスの拡販に取り組む一方で、国内で蓄積されたマーケティングノウハウの海外展開を実施してまいりました。一方で、競争力の創造及び収益性の向上を実現するため、ヘルスケア関連領域での更なる専門性・優位性を持つべく、事業構造の転換を推し進めてまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は4,105,120千円（前年同期比8.0%減）となりました。

#### <アドテクノロジー事業>

アドテクノロジー事業において、拡大するディスプレイ広告市場を背景に、BtoBマーケティング支援型のDSP\*5「ADMATRIX DSP」を自社ブランドで展開し、データ連携に伴う独自技術によるターゲティング精度向上など、顧客満足度向上に取り組んでまいりました。一方で、拡大する動画広告市場に向けて、ブランディング広告に特化した取組を開始し、積極的な拡販を図っております。

また、子会社である株式会社フォーイトにおいて、ASP\*6として当社が自社開発したアフィリエイトプラットフォーム『afb』が順調に事業拡大し、市場において確固たるポジションの獲得に至っております。今後は中長期目線でのアジア展開を加速し、将来的にはASEAN No.1のアフィリエイトプラットフォーム事業になるべく積極的な事業展開を推進致します。

以上の結果、当事業の売上高は7,718,070千円（前年同期比9.7%増）となりました。

#### <その他>

その他の区分には、情報メディアサイトの運営、広告ソリューションにおいて付随して発生するWEBサイト、バナナ一、及びLP制作等が含まれており、売上高は269,172千円（前年同期比20.4%減）となりました。

- \*1 ソーシャルメディアマーケティング : ソーシャルメディア上での情報発信により、人々の繋がりを通じて拡散されるマーケティング手法。
- \*2 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- \*3 コンテンツマーケティング : 自社Webサイト等への訪問者を増やしたい顧客に対して、コンテンツの制作/配信をはじめとする各種インターネット広告手法を用いて課題解決するサービス。
- \*4 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- \*5 DSP (Demand Side Platform) : 広告主サイドの広告効果の最大化のため、広告主サイドが広告出稿の際に使用する広告配信プラットフォーム。
- \*6 ASP (アフィリエイト・サービス・プロバイダー) : 広告主、自社サイトで広告を掲載したい企業及び個人を仲介する役割を担う事業者。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は6,476,115千円となり、前連結会計年度末に比べて192,134千円増加しました。これは、主に現金及び預金の増加131,858千円、受取手形及び売掛金が62,819千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は587,585千円となり、前連結会計年度末に比べて14,076千円増加しました。これは、主に投資有価証券の増加46,323千円、建物の減少13,094千円、のれんが8,883千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は2,691,615千円となり、前連結会計年度末に比べて116,307千円減少しました。これは、主にその他の減少によるものであります。

固定負債は477,320千円となり、前連結会計年度末に比べて69,500千円増加しました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は3,894,764千円となり、前連結会計年度末に比べて253,019千円増加しました。これは、主に配当金支払による利益剰余金の減少並びに親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は3,945,018千円となり、前連結会計年度末に比べ131,858千円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、140,816千円のプラスとなりました。これは、主に法人税等の支払額が293,111千円があったものの、税金等調整前四半期純利益487,670千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、48,658千円のマイナスとなりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出2,547千円並びに投資有価証券の取得による支出46,316千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、40,177千円のプラスとなりました。これは、主に長期借入れによる収入200,000千円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入6,000千円、長期借入金の返済による支出110,500千円、配当金の支払額46,322千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月14日に発表しました「2019年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

また、上記の予想は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,813,159	3,945,018
受取手形及び売掛金	2,340,282	2,403,102
前払費用	80,254	81,465
未収入金	9,942	9,061
その他	40,799	38,177
貸倒引当金	△458	△710
流動資産合計	6,283,980	6,476,115
固定資産		
有形固定資産		
建物	232,456	231,785
減価償却累計額	△103,786	△116,210
建物(純額)	128,669	115,574
工具、器具及び備品	241,827	244,390
減価償却累計額	△211,960	△217,284
工具、器具及び備品(純額)	29,867	27,106
有形固定資産合計	158,537	142,681
無形固定資産		
ソフトウェア	14,349	12,455
のれん	52,431	43,547
その他	52	52
無形固定資産合計	66,833	56,055
投資その他の資産		
投資有価証券	10,235	56,558
関係会社株式	33,478	32,084
破産更生債権等	184,471	186,262
繰延税金資産	112,058	107,618
差入保証金	192,357	192,578
その他	5,252	5,252
貸倒引当金	△189,715	△191,506
投資その他の資産合計	348,138	388,848
固定資産合計	573,508	587,585
資産合計	6,857,489	7,063,701

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,845,424	1,879,235
短期借入金	9,000	—
1年内返済予定の長期借入金	191,000	211,000
未払金	152,637	112,865
未払法人税等	102,088	201,750
未払消費税等	50,806	29,732
賞与引当金	87,297	88,471
その他	369,669	168,560
流動負債合計	2,807,923	2,691,615
固定負債		
長期借入金	377,500	447,000
資産除去債務	30,320	30,320
固定負債合計	407,820	477,320
負債合計	3,215,744	3,168,936
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	898,887	898,887
資本剰余金	869,887	869,887
利益剰余金	1,853,952	2,098,326
自己株式	△44	△44
株主資本合計	3,622,682	3,867,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	64
為替換算調整勘定	10,074	15,781
その他の包括利益累計額合計	10,133	15,845
非支配株主持分	8,929	11,862
純資産合計	3,641,745	3,894,764
負債純資産合計	6,857,489	7,063,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
売上高	10,375,785	10,821,756
売上原価	8,303,850	8,746,494
売上総利益	2,071,935	2,075,262
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	632,776	721,029
地代家賃	119,087	128,227
貸倒引当金繰入額	721	2,043
賞与引当金繰入額	40,000	42,700
減価償却費	21,047	19,178
のれん償却額	6,569	8,883
その他	604,745	661,567
販売費及び一般管理費合計	1,424,949	1,583,629
営業利益	646,986	491,632
営業外収益		
受取利息	32	36
受取配当金	0	1
雑収入	—	9,594
その他	601	1,047
営業外収益合計	635	10,679
営業外費用		
支払利息	1,785	1,240
支払手数料	4,853	4,372
為替差損	1,973	5,986
持分法による投資損失	8,245	1,394
その他	1,349	1,303
営業外費用合計	18,208	14,298
経常利益	629,413	488,013
特別損失		
固定資産売却損	—	342
特別損失合計	—	342
税金等調整前四半期純利益	629,413	487,670
法人税、住民税及び事業税	224,351	195,212
法人税等調整額	2,908	4,438
法人税等合計	227,260	199,650
四半期純利益	402,152	288,020
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,960	△3,066
親会社株主に帰属する四半期純利益	400,192	291,086



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	402,152	288,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	4
為替換算調整勘定	3,173	5,707
その他の包括利益合計	3,157	5,712
四半期包括利益	405,309	293,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403,349	296,798
非支配株主に係る四半期包括利益	1,960	△3,066

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	629,413	487,670
減価償却費	46,419	20,782
のれん償却額	6,569	8,883
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	721	2,043
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,460	1,174
受取利息及び受取配当金	△33	△37
支払利息	1,785	1,240
持分法による投資損益 (△は益)	8,245	1,394
固定資産売却損	—	342
売上債権の増減額 (△は増加)	△111,351	△64,611
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,735	33,810
未払債務の増減額 (△は減少)	△51,703	△50,187
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,466	△21,073
その他	35,922	8,552
小計	592,731	429,987
利息及び配当金の受取額	33	37
利息の支払額	△1,397	△1,407
法人税等の支払額	△293,613	△295,111
法人税等の還付額	6,540	7,310
営業活動によるキャッシュ・フロー	304,294	140,816
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△61,612	△2,547
有形固定資産の売却による収入	—	205
無形固定資産の取得による支出	△43,148	—
投資有価証券の売却による収入	30,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△46,316
差入保証金の差入による支出	△40,732	—
関係会社株式の取得による支出	△50,000	—
その他	847	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,646	△48,658
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△9,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△133,840	△110,500
配当金の支払額	—	△46,322
自己株式の取得による支出	△44	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	6,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,884	40,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	△196	△476
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,566	131,858
現金及び現金同等物の期首残高	3,334,481	3,813,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,340,048	3,945,018

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年5月1日 至2018年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	インターネットマ ーケティング事業	アドテクノロジー 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,459,453	5,710,152	10,169,606	206,178	10,375,785
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,098	1,322,857	1,324,956	131,996	1,456,952
計	4,461,552	7,033,010	11,494,563	338,175	11,832,738
セグメント利益	266,739	648,069	914,808	3,637	918,445

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報メディア事業、クリエイティブ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	914,808
「その他」の区分の利益	3,637
セグメント間取引消去	4,172
全社費用(注)	△275,632
四半期連結損益計算書の営業利益	646,986

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年5月1日 至2019年10月31日)  
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	インターネットマ ーケティング事業	アドテクノロジー 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,079,269	6,544,852	10,624,122	197,634	10,821,756
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25,850	1,173,218	1,199,068	71,537	1,270,606
計	4,105,120	7,718,070	11,823,190	269,172	12,092,363
セグメント利益	209,422	583,040	792,463	△15,603	776,860

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報メディア事業、クリエイティブ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	792,463
「その他」の区分の利益	△15,603
セグメント間取引消去	1,868
全社費用(注)	△287,096
四半期連結損益計算書の営業利益	491,632

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。